

# 2024年3月期 決算説明資料

東証スタンダード 証券コード：6614  
2024年5月14日

## 2023年度（2024年3月期）は増収・増益

- 半導体信頼性試験関連商材、車載機器向け専用計測機および産業機器向けカメラで受注は順調に推移。譲渡事業分含め通期予想以上の増収となるも、下期以降特定顧客の生産量抑制、設備投資抑制の影響が発生、加えて、マイナンバー関連の停滞により伸び率は鈍化。
- 利益面は、工場・拠点の積極投資、労務費上昇、事業譲渡関連費用の発生、原材料やエネルギー価格の高騰等の影響はあったが、最終利益（当期純利益）では前年比で増益。

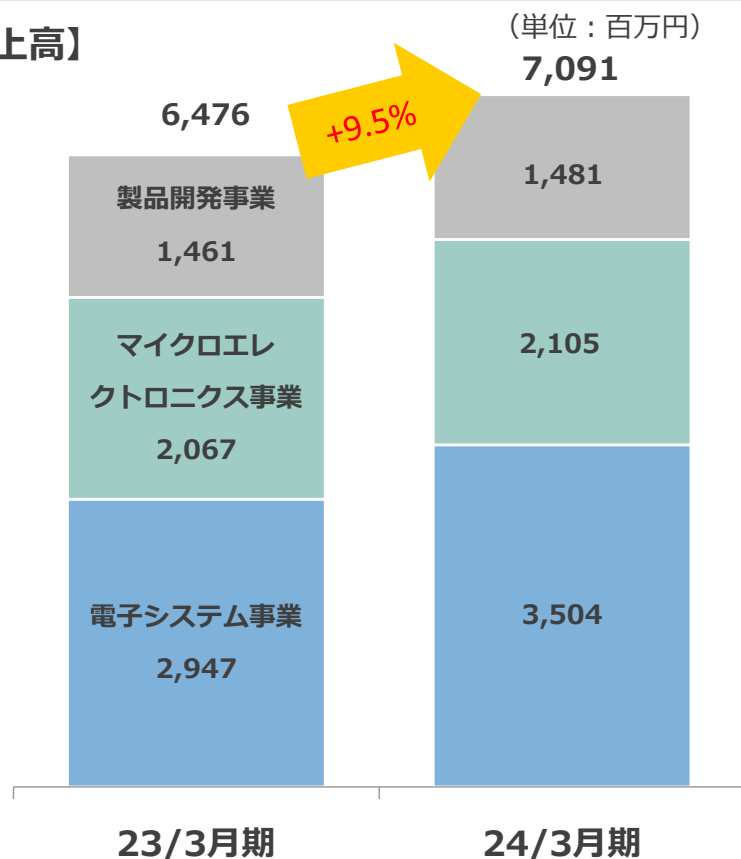
（単位：百万円）

	2024/3月期 通期予想	2024/3月期 通期実績	通期予想 達成率	2023/3月期 通期実績	対前年 増減率
売上高	6,680	7,091	106.2%	6,476	9.5%
営業利益	560	604	107.9%	657	▲8.0%
経常利益	560	639	114.1%	668	▲4.3%
当期純利益	430	509	118.4%	477	6.8%

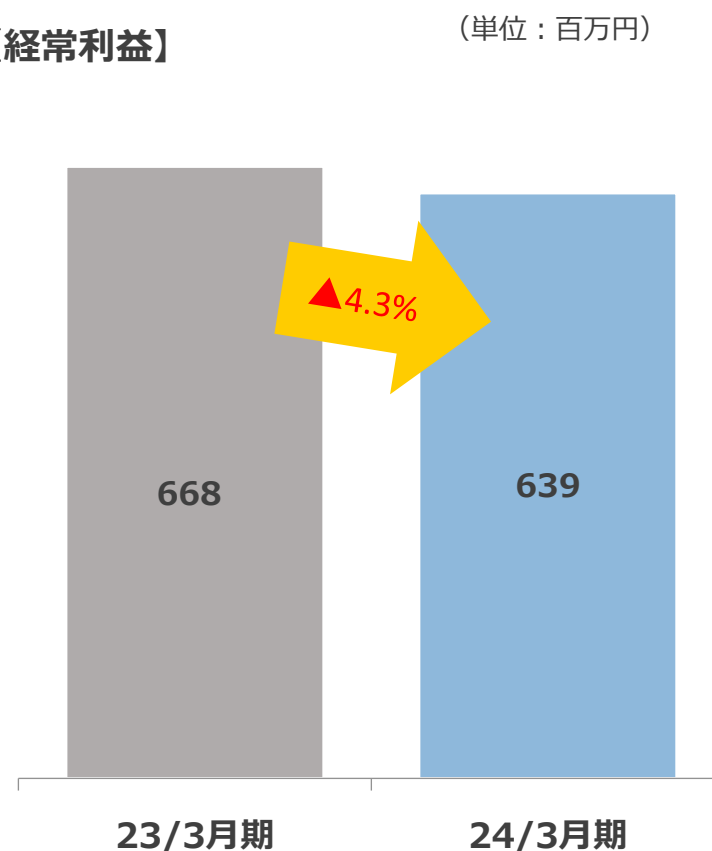
# 決算状況① 前期比（累計）

- ・カスタムバーンイン関連商材の受注が増加し電子システム事業は前期比+18.9%と大幅増収。下期以降車載用半導体の後工程商材に一服感が現れ伸び率は鈍化したが新規顧客開拓に成果。
- ・マイクロエレクトロニクス事業も旺盛な半導体需要に支えられ堅調に推移。車載分野で受注増。
- ・製品開発事業はマイナンバー読み取りカメラ応用製品の停滞もあったが、アミューズメント機器向けカメラの量産開始など順調に推移し前期比成長は堅持。

## 【売上高】



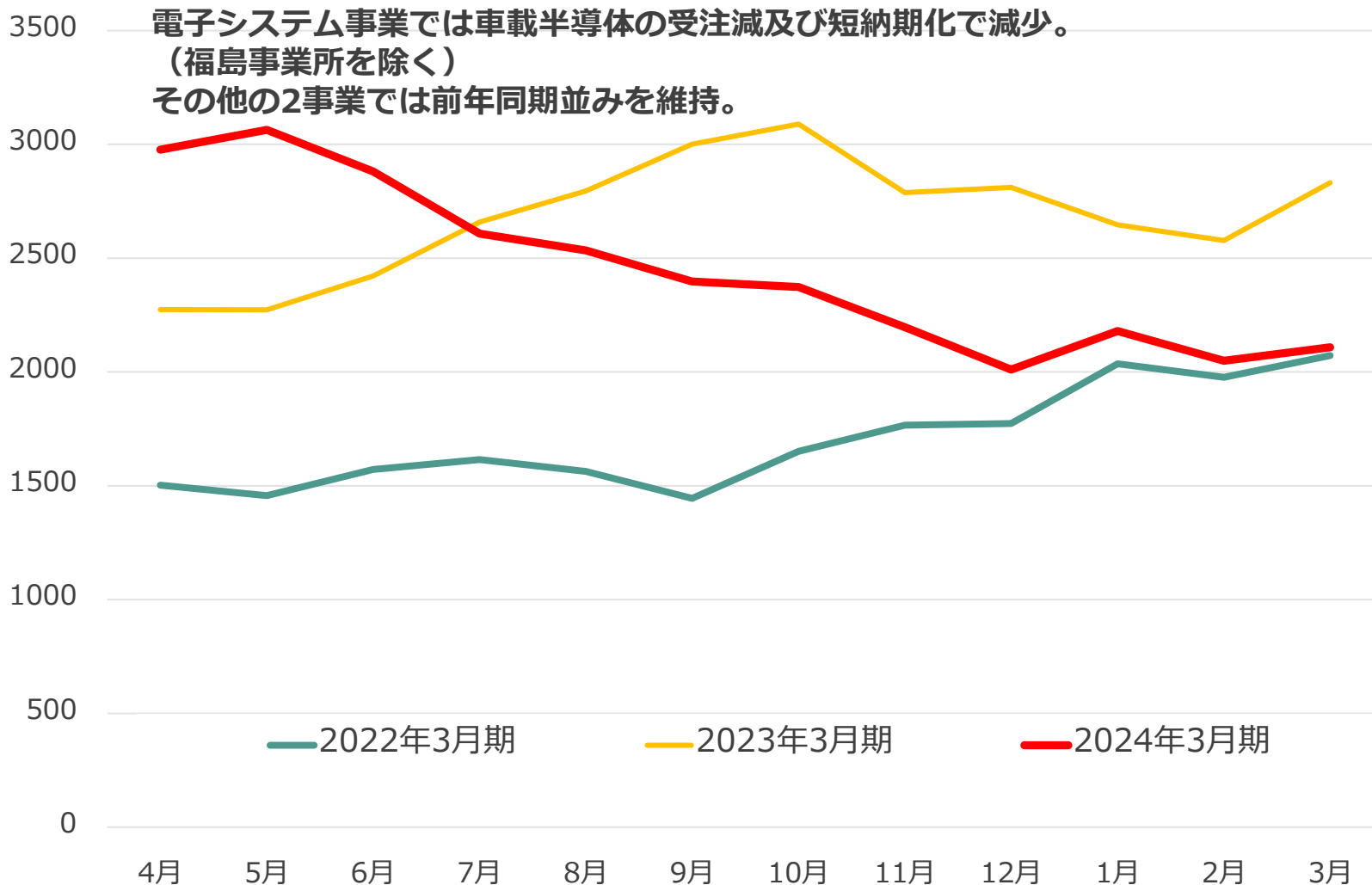
## 【経常利益】

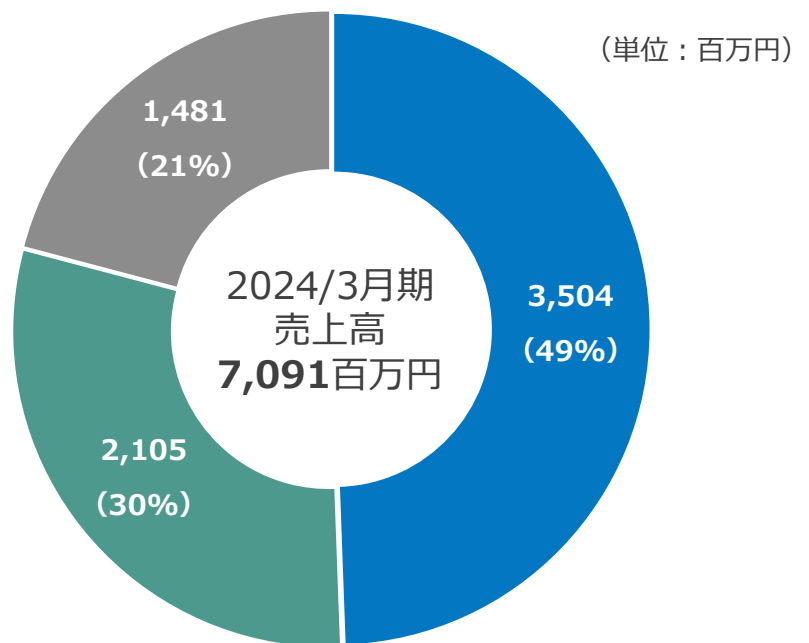


※売上高・経常利益は前期比で増収・減益。

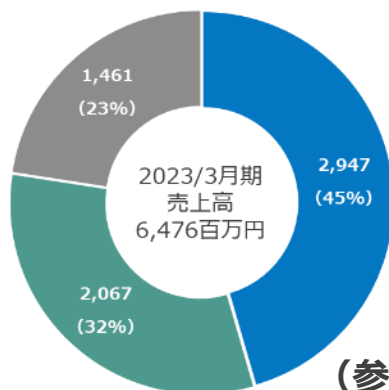
## 【受注残高（全社）】

(単位：百万円)





24/3月期売上構成



(参考) 23/3月期売上構成

## 電子システム事業

### 半導体検査・装置関連

バーンイン装置、バーンイン装置レンタル、バーンインボード、半導体部品の検査ボード、半導体のテストプログラム、高速通信機器、各種電子機器検査用ボード、専用計測器、電子機器の開発・設計・製造

## マイクロエレクトロニクス事業

### LSI設計（アナログ・デジタル）、IPコア

電源IC設計、高速I/F設計、イメージセンサ設計、画像処理系LSI設計、FPGA設計、ASIC設計、技術者派遣、JPEG、MIPI、ISP

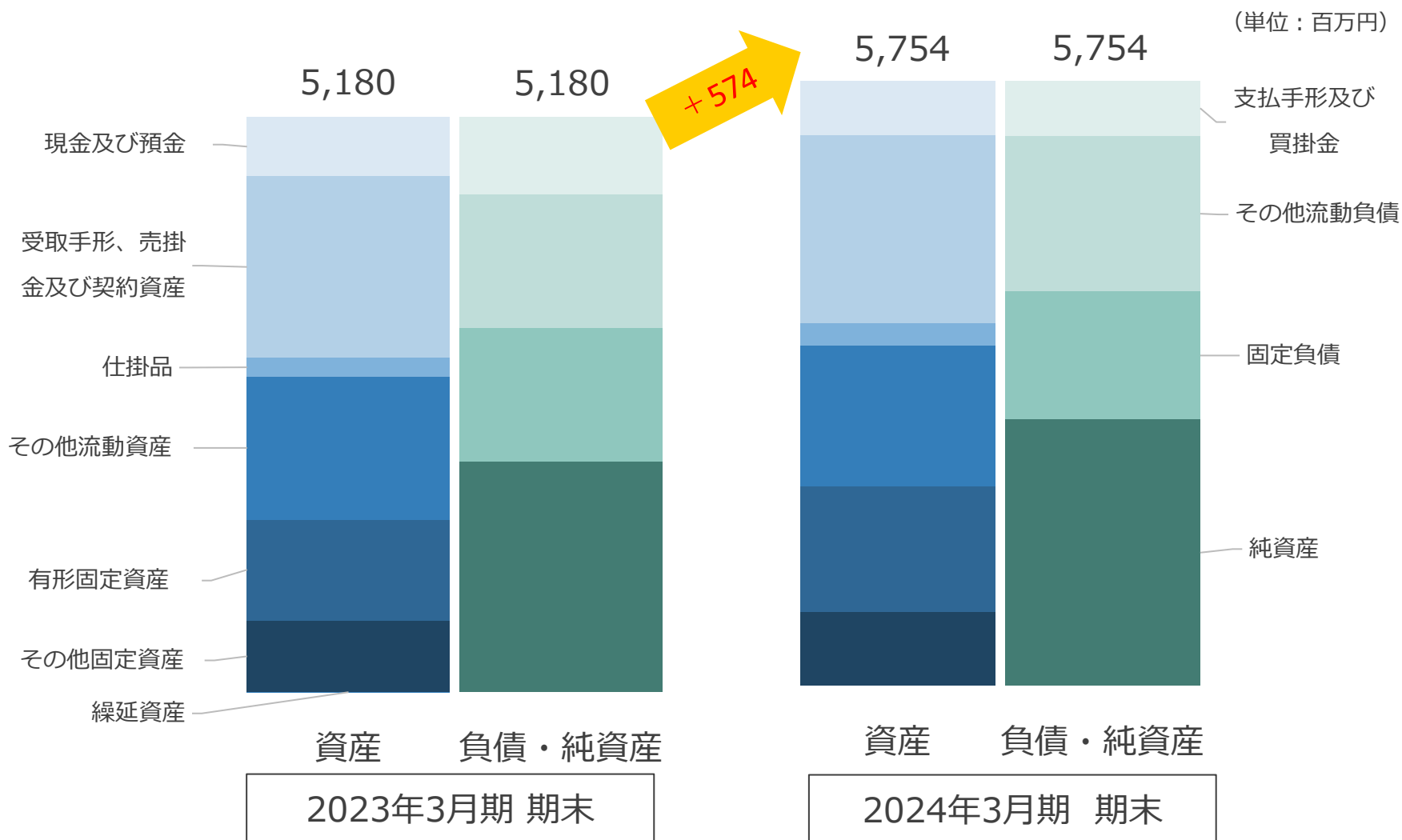
## 製品開発事業

### 組み込みカメラモジュール・画像システム

画像関連機器、CMOSカメラモジュール、画像処理システム、画像処理モジュール

# 貸借対照表

【固定資産】 第二工場稼働、事業譲渡等により有形固定資産275百万円増加。  
 【負債】 負債合計106百万円増加。（流動負債+99・固定負債+7）  
 【純資産】 利益計上で純資産467百万円増加。自己資本比率44.3% 前期比+4.1ポイント。



2023年	4月 5日 ~4月 7日	第32回 Japan IT Weekに出展	1Q
	4月 17日	130万画素MIPI出力カメラモジュール ルネサス製マイクロプロセッサ RZファミリのカメラ制御ドライバの提供開始	
	5月11日	決算発表 剰余金の配当（増配）をリリース	
	<b>5月15日</b>	<b>富山県魚津市の第二工場の稼働開始</b>	
	5月 22日	譲渡制限付株式報酬制度の導入を決議	
	6月 8日	決算説明会	
	6月28日	第51期 定時株主総会	
	7月 5日	スーパーフレックスタイム制の導入	
	8月 4日	NECプラットフォームズ株式会社様より納期貢献への感謝状授与	
	8月23日	「指名・報酬委員会」設置	
8月29日	個人投資家様向け会社説明会		
9月 6日	「第二工場」ISO認証取得		
2023年	<b>11月 14日</b>	<b>横浜デザインセンター開設</b>	3Q
	<b>12月 31日</b>	<b>株式会社アウトソーシングテクノロジーの一部事業譲渡成立</b>	
2024年	1月 20日	ピンポイント着陸技術搭載した月着陸実証機「SLIM」に当社技術が寄与	4Q

2023年12月31日付（株）アウトソーシングテクノロジー社の一部事業の譲渡成立。  
概要は以下の通りです。

1. 事業所名：福島事業所（福島製造部）
2. 所在地：福島県いわき市小名浜野田字柳町41-29
3. 業務内容：カーオーディオチューナー製造・販売、電子部品・完成品の受託生産（EMS）（テレビ基板、PC光学ドライブ、無線オーディオ、カメラ、無線監査装置）
4. 従業員数：101名（パート含む）
5. 敷地面積：12,295㎡（3,726坪）
6. 延床面積：4,487㎡（1,360坪）
7. 保有認証：ISO9001(IATF16949) ISO14001 UL製品/工場認証
8. 沿革  
1972年 7月 三進電機株式会社設立  
1975年11月 福島県いわき市小名浜にいわき工場新設（現福島事業所）  
1990年 8月 サンシン電機株式会社に社名変更  
2013年10月 株式会社アウトソーシングの連結対象子会社に  
2024年 1月 電子システム事業本部福島製造部として稼働開始

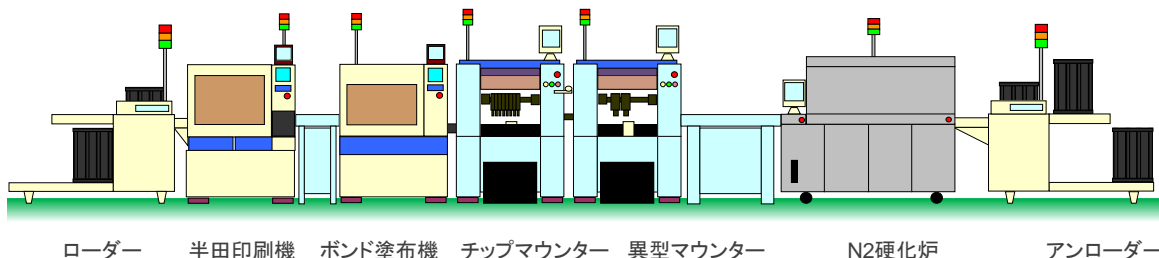
## ■ 基板設計/装置設計

- ・高周波アナログ回路技術を元に、ワイヤレス製品の設計が得意
- ・ワイヤレス・オーディオの測定設備が多く実績も多い
- ・生産設備を自ら構築可能

## ■ 量産製造

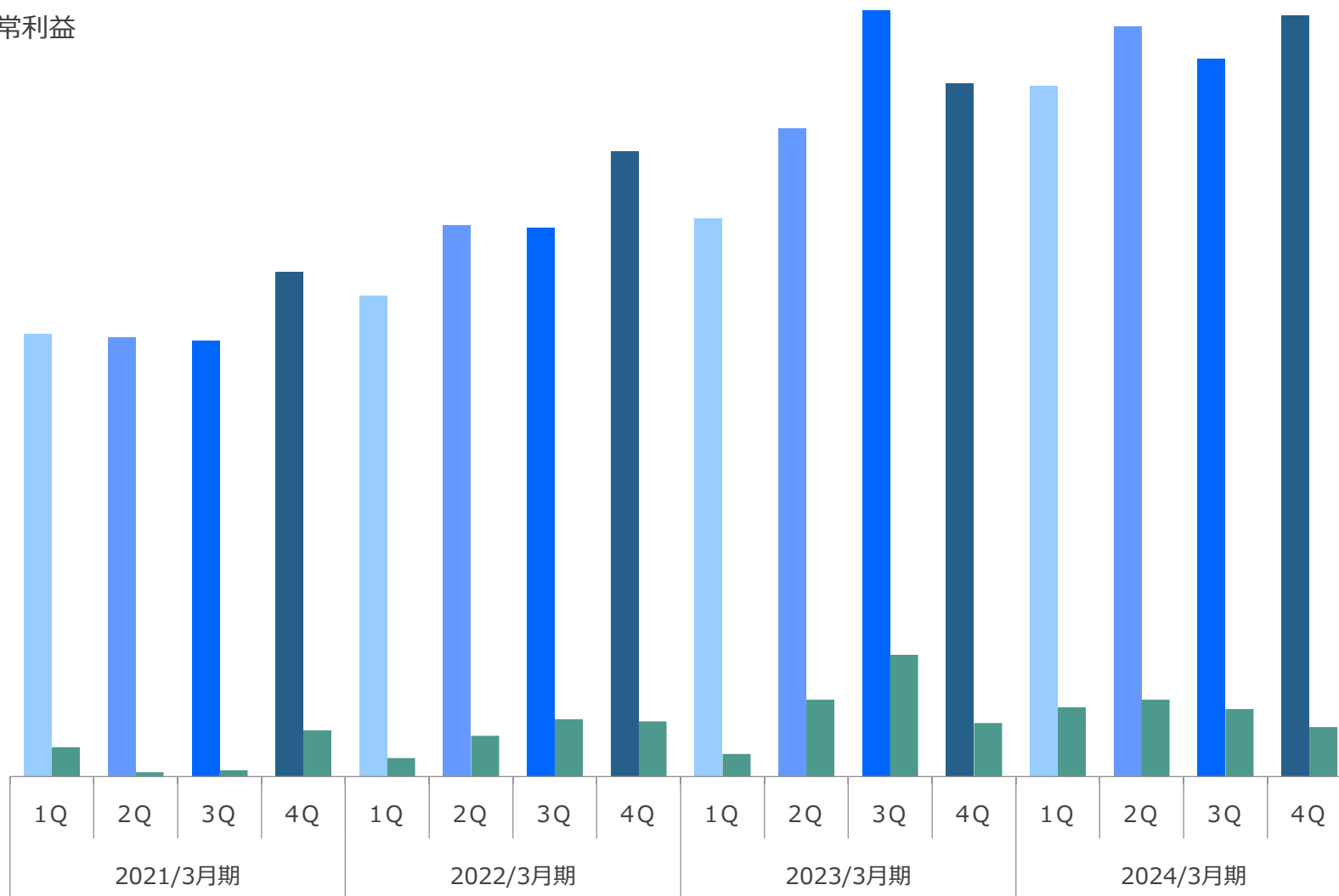
- ・大量生産を行うための仕組みになっており、リピート生産が得意
- ・SMT2系列（生産台数：平均40万台/月）、Dip～電気検査までの生産工程が多い
- ・ハード、ソフト、基板、筐体の設計～実装まで1STOP対応可能
- ・完成品までの行程立上げも行っており、生産ライン設計・立上げ、検査治具の作成までを内製化
- ・国内でライン構築・試作、量産は海外協力工場（マレーシア）という実績もあり

## ■ SMTマシン 2系列 CM402 Mサイズ





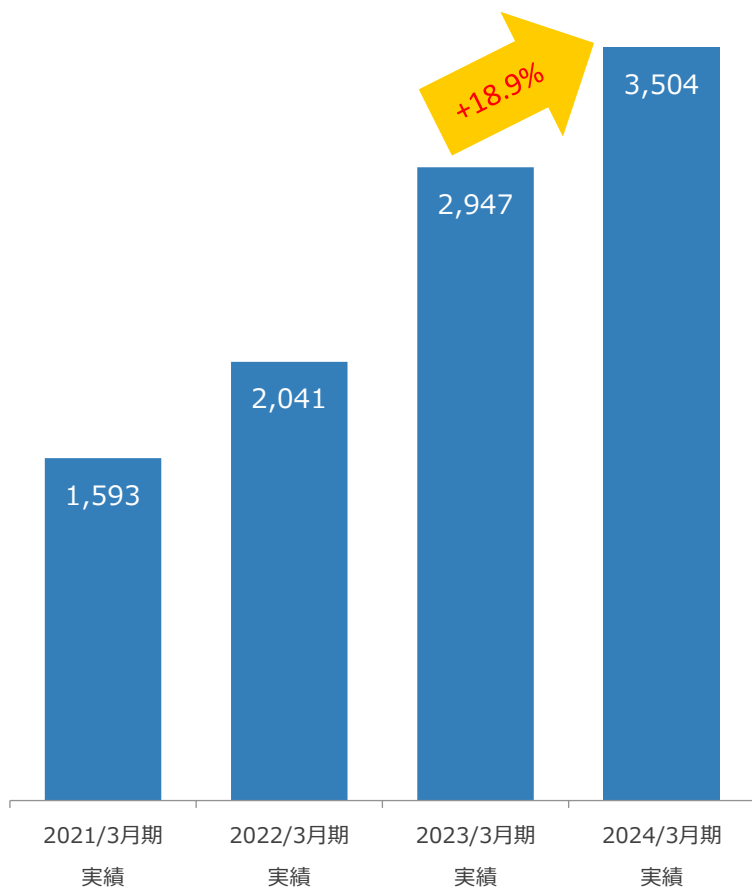
■ 1Q売上高   
 ■ 2Q売上高   
 ■ 3Q売上高   
 ■ 4Q売上高  
■ 経常利益



車載半導体向け中心のバーンインボードは上期好調も下期以降に市場在庫増で顧客設備投資が急減。  
 パワー半導体・センサー向けのカスタムバーンイン装置は品種展開、用途展開で受注増。  
 車載用専用計測機器は顧客の海外拠点展開向けもあり受注台数が4Qに増加し前期比同等まで回復。

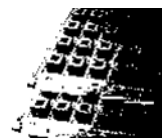
## 【売上高】

(単位：百万円)



## 2023年度トピックス

➤ 半導体装置検査装置の受注がけん引



**バーンインボード**  
 前年比：83%



**半導体検査装置販売・リース**  
 前年比：217%



**車載製品用専用計測機器関連**  
 前年比：99%

**福島事業所開所**  
 福島製造部稼働開始



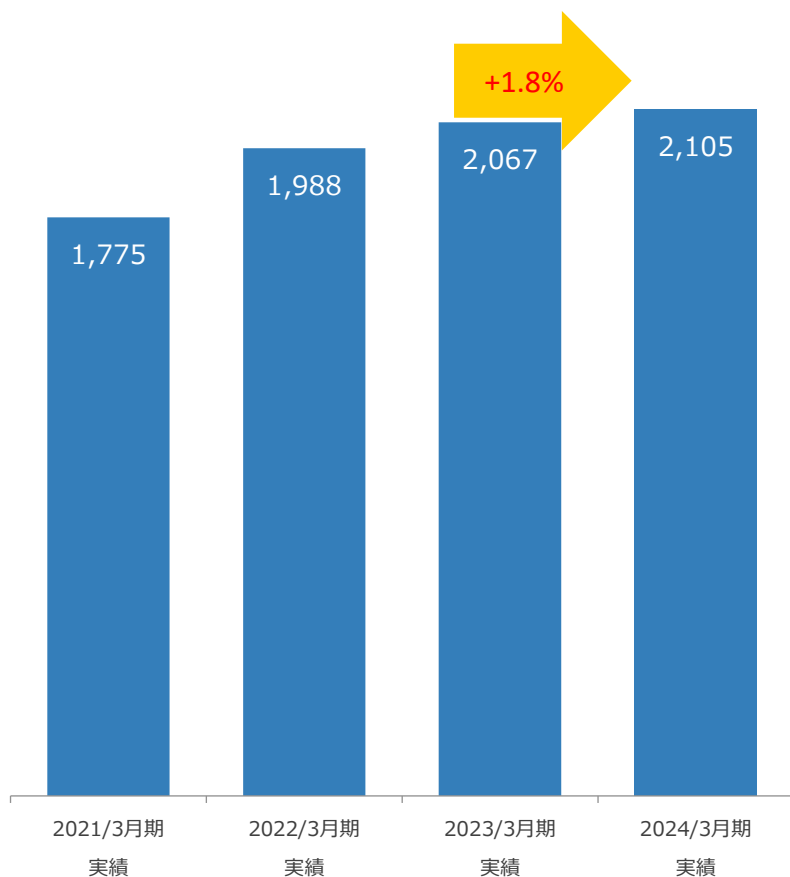
**第15回 国際スマートグリッド展**  
 nessum (IoT-PLC) を展示



アナログは自動車向けパワー半導体設計が順調、センサー用半導体の設計はスマホ向けが堅調。デジタルはDSC画像処理関連の設計が減少、自動車向け設計受託へのシフトは順調に推移。

## 【売上高】

(単位：百万円)



## 2023年度トピックス

### ➤ アナログ半導体設計受託

自動車向け等パワー半導体  
前年比：127%



センサー用半導体  
前年比：92%



### ➤ デジタル半導体設計受託

DSC等画像処理関連  
前年比：68%



自動車関連デジタル設計  
前年比：210%



セルフレジ、国内ATM、医療検体装置、カードゲームなどのカメラ搭載機器は堅調に増加するも、マイナンバーカードの医療分野以外の導入遅れにより販売計画未達。

## 【売上高】

(単位：百万円)



## 23年度 トピックス

### 次期新商品 試作完了

### 介護見守りシステム (商品名:C-エイド)



C-エイド

センサー+カメラ 一体型 見守りシステム

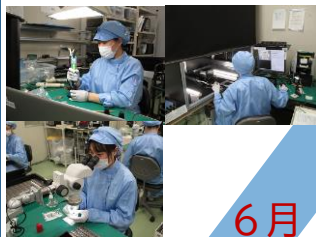
商品名：C-エイド

特長：離床、心拍、呼吸、睡眠+カメラ撮像を1台で実現

発売予定時期：2024年秋

国際画像機器展 出展  
EdgeTech+ 2023 出展

魚津工場  
クリーンルーム拡張



7月 NECプラットフォームズ(株)様より  
納期貢献での感謝状を授与

6月 富山県ヘルスケア産業育成創出事業採択  
介護見守りシステムでの非接触離床検出精度・  
性能向上に関する研究

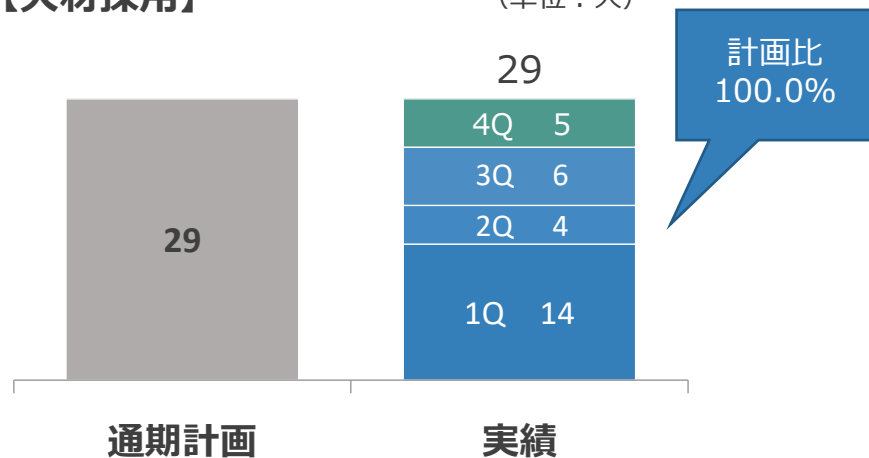
4月 Japan IT Week  
IoT・エッジコンピューティング EXPO出展

ルネサス AI Tech Day 出展、カメラ技術講演

人材採用はキャリア採用の人材争奪戦の激化継続も計画通り達成。  
 当初計画外ではあるが、24年1月事業譲渡により101名の従業員受け入れ（パートを含む）。  
 研究開発は重要テーマに絞った見直し・支払時期変更を含めた日程計画見直しにより計画未達。

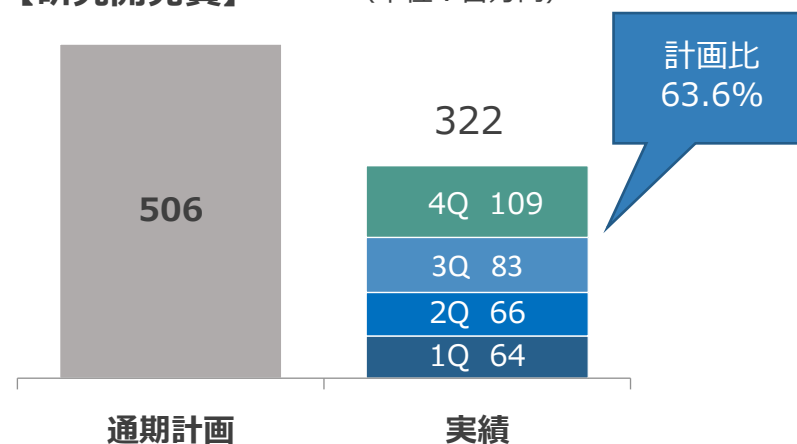
## 【人材採用】

(単位：人)



## 【研究開発費】

(単位：百万円)



## 主要開発テーマ

### 電子システム事業

- ・半導体検査装置・カスタム検査装置
- ・次世代nessum(IoT-PLC)通信モジュール

### マイクロエレクトロニクス事業

- ・次世代JPEG IPコア・画像処理ISP IPコア
- ・通信用アナログデバイス

### 製品開発事業

- ・介護向けシステム、センシングカメラ後継機

## 2024年度（2025年3月期）は増収減益（戦略的な成長投資による）

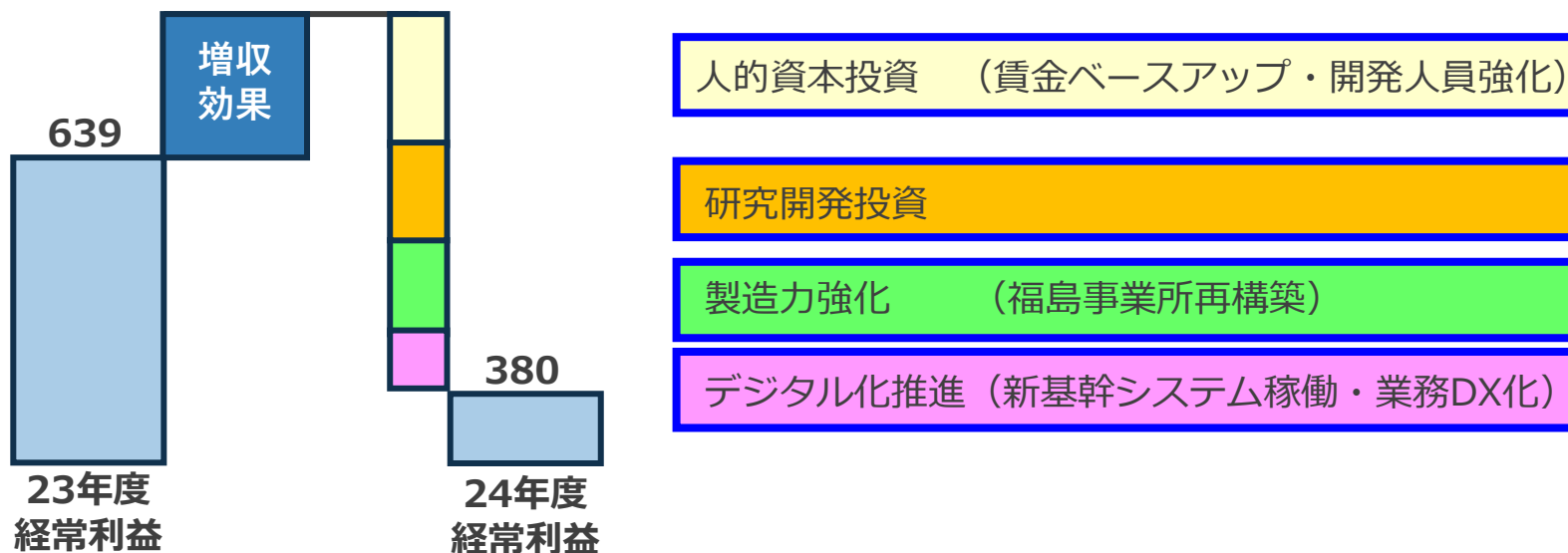
- 当期だけでなく、将来の成長分野への事業化も並行して進め、生産性のより一層の向上と機動力を発揮して取り組む。
- 将来の大きな飛躍を見据え、新技術の開発に積極的に先行投資（前期比+102百万円）の継続、福島事業所の再構築、労務費のベースアップ、基幹システムの償却負担、デジタル化推進などで経常利益は▲40.6%の減益計画。

全社

（単位：百万円）

	2024/3月期 通期実績	2025/3月期 通期予想	増減額	増減率
売上高	7,091	7,475	384	5.4%
営業利益	604	385	△219	△36.3%
経常利益	639	380	△259	△40.6%
当期純利益	509	270	△239	△47.0%
研究開発費	322	424	102	31.7%

- 持続的な成長に向け、『人的資本投資』・『DX投資』・『新製品開発投資』を積極的に推進。



安定的・継続的な株主還元の考えを継続し、配当を実施する予定です。

(単位：円)

	1株当たり当期純利益および配当金	
	2024/3月期 実績	2025/3月期 予想
1株当たり当期純利益	115.23	61.00
中間配当金	0	0
期末配当金	15	15
年間配当金	15	15

※2024年5月14日現在において、配当予想額は、1株当たり = 15円を予定しております。

本資料で提供する情報のうち業績見通しおよび事業計画等に関するものは、当社が現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づいており、リスクや不確実性を含んでおります。

従って、実際の業績は、様々な要因により、これらの見通しとは異なる結果になりうることをご承知おきください。

当社がこの資料を発行後、適用法令の要件に服する場合を除き、将来に関する記述を更新、又は修正して公表する義務を負うものではありません。

本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、又これを保証するものではありません。

本資料の著作権は当社に帰属し、目的を問わず、当社に事前の承諾なく複製又は転用することなどを禁じます。

## ご注意事項

### 数字の処理について

当社業績に関する記載金額は特に明記が無い限り、以下の通り処理しております。そのため内訳の計が合計と一致しない場合があります。

- ・表、グラフの金額：表示単位未満を切り捨て
- ・比率：表示単位第1位未満を四捨五入

## お問い合わせ先

株式会社シキノハイテック

常務取締役管理本部長 広田 文男

e-mail：IR-contact@shikino.co.jp

TEL：0765-22-3477 FAX：0765-22-3916

ホームページ：https://www.shikino.co.jp/